

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第41週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は746人（定点あたり22.9）で、前週比101%と横ばいであった。

前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

インフルエンザ・小児科定点からの報告

【感染性胃腸炎】

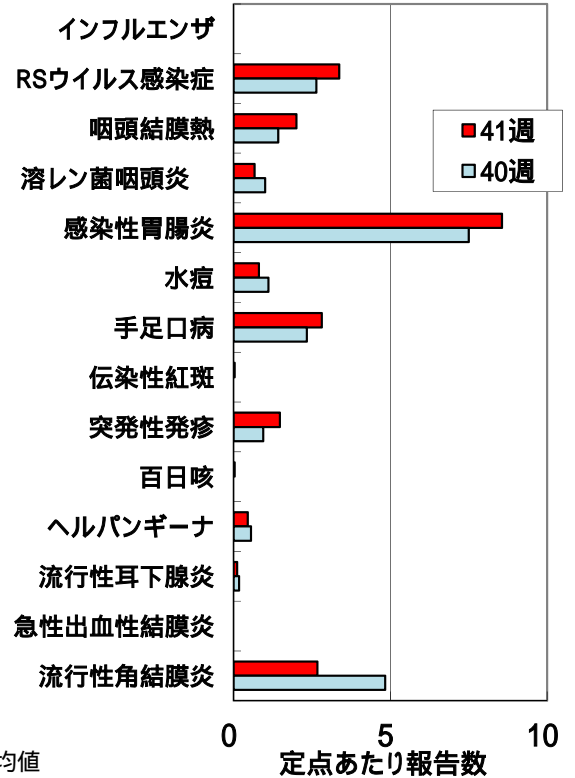
・報告数は308人（8.6）で前週比114%と増加した。3週続けて増えており、例年同時期の定点あたり平均値*（5.2）の約1.6倍である。小林（12.7）、延岡（12.3）保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から3歳が全体の約6割を占めた。

【RSウイルス感染症】

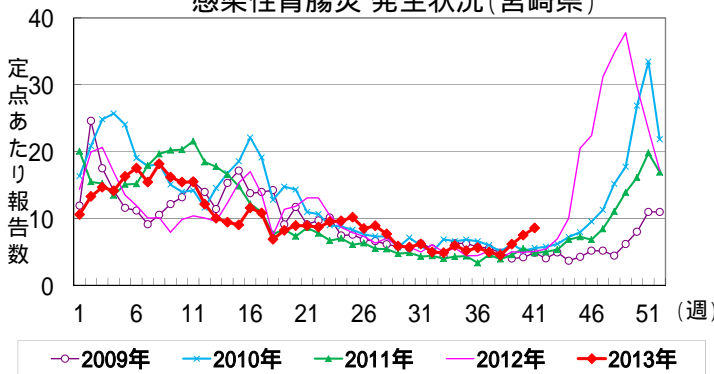
・報告数は121人（3.4）で前週比127%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*（2.2）の約1.6倍である。日向（10.0）、延岡（7.3）保健所からの報告が多い。年齢別では6ヶ月から1歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

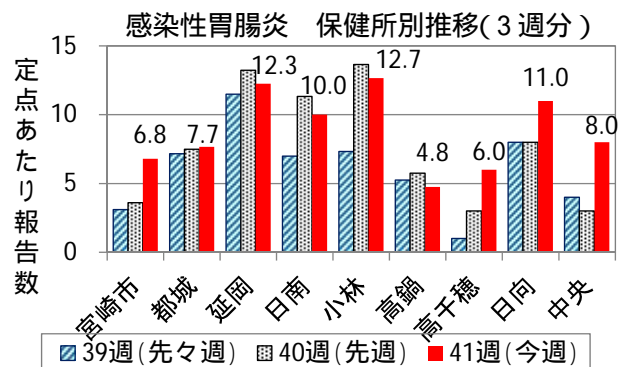
（前週との比較）



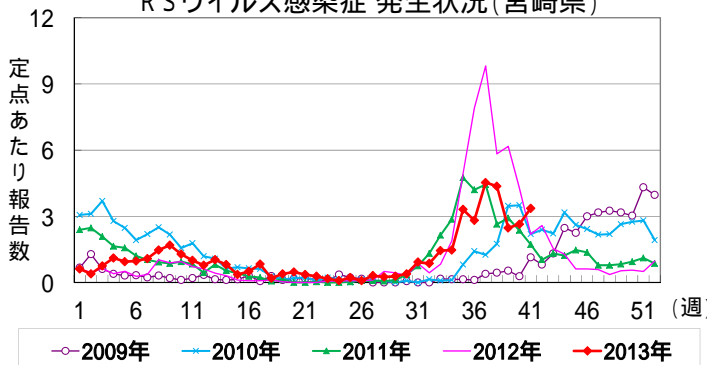
感染性胃腸炎 発生状況 (宮崎県)



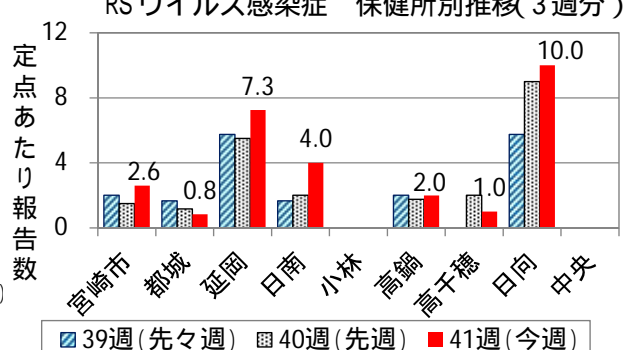
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



RSウイルス感染症 発生状況 (宮崎県)



RSウイルス感染症 保健所別推移 (3週分)



流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	咽頭結膜熱(3.2)
延岡	咽頭結膜熱(3.0)
日南	咽頭結膜熱(5.0)、手足口病(9.7)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(7.0)
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

・咽頭結膜熱(3.0)

・手足口病(5.0)

全数把握対象疾患 (41 週までに届出のあったもの)

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 11 例。
- 3 類感染症： 報告なし。
- 4 類感染症： 報告なし。
- 5 類感染症： 報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状 等
2類	結核	宮崎市	30 歳代	無症状病原体保有者	-
			70 歳代	無症状病原体保有者	-
			70 歳代	無症状病原体保有者	-
			80 歳代	肺結核	咳、痰、発熱
			90 歳代	その他の結核 (結核性心膜炎)	咳、発熱
		延岡	20 歳代	無症状病原体保有者	-
			30 歳代	無症状病原体保有者	-
			40 歳代	無症状病原体保有者	-
			40 歳代	無症状病原体保有者	-
		日向	70 歳代	その他の結核 (結核性胸膜炎)	なし
		日向	70 歳代	肺結核	咳、痰

全国第 40 週の発生动向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 9.7 で、前週比 107%と増加した。今週増加した主な疾患は感染性胃腸炎と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

感染性胃腸炎の報告数は 9,416 人(3.0)で前週比 115%と増加した。宮崎県(7.5)、大分県(6.9)、茨城県(6.0)からの報告が多く、年齢別では 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 4 割を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 3,017 人(0.96)で前週比 133%と増加した。山形県・長野県(各 1.9)、北海道・山口県(各 1.8)、富山県(1.6)からの報告が多く、年齢別では 4 歳から 7 歳が全体の約半数を占めた。

全数把握対象疾患（全国第40週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	382例				
3類感染症	細菌性赤痢	3例	腸管出血性大腸菌感染症	74例	腸チフス	2例
	パラチフス	1例				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	2例	Q熱	1例
	デング熱	8例	日本紅斑熱	6例	日本脳炎	2例
	マラリア	1例	類鼻疽	1例	レジオネラ症	16例
	レプトスピラ症	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	11例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	17例
	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	6例
	先天性風しん症候群	1例	梅毒	17例	破傷風	3例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例	風しん	25例		

月報告対象疾患の発生動向 <9月>

性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は29人（2.2）で、前月比85%と減少した。また、昨年9月（2.6）の約9割であった。

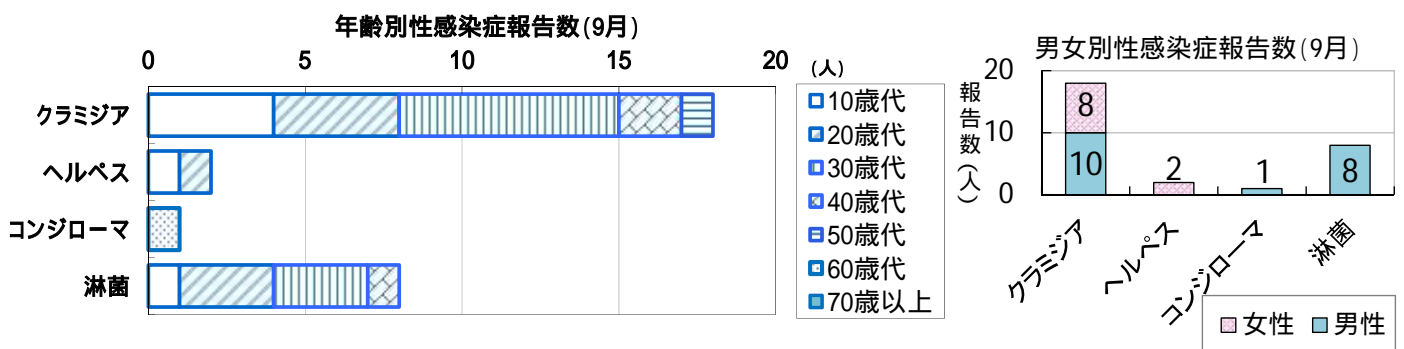
《疾患別》

性器クラミジア感染症：報告数18人（1.4）で、前月の約1.1倍、前年の約9割であった。30歳代が全体の約4割を占めた。

性器ヘルペスウイルス感染症：報告数2人（0.15）で、前月及び前年の約3割であった。10歳代後半と20歳代であった。

尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月の約3割、前年と同程度であった。60歳代であった。

淋菌感染症：報告数8人（0.62）で、前月の約1.1倍、前年の約1.6倍であった。20歳代・30歳代がそれぞれ全体の約4割を占めた。



【全国】 定点医療機関総数：972

定点医療機関からの報告総数は4,163人（4.3）で、前月比94%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,211人（2.3）で前月比97%、性器ヘルペスウイルス感染症684人（0.70）で前月比85%、尖圭コンジローマ464人（0.48）で前月比94%、淋菌感染症804人（0.83）で前月比94%であった。

薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は29人（4.1）で前月比104%と横ばいであった。また、昨年9月（4.1）と同程度であった。

《疾患別》

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数29人（4.1）で、前月及び前年の約1.1倍であった。70歳以上が全体の約半数、5歳未満が約2割を占めた。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告はなかった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：472

定点医療機関からの報告総数は1,858人（3.9）で、前月比94%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,632人（3.5）で前月比94%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症201人（0.43）で前月比92%、薬剤耐性緑膿菌感染症24人（0.05）で前月比71%、薬剤耐性アシネトバクター感染症1人であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2013年 第41週(10月07日～10月13日)

疾病名		第40週	第41週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	95	121	26	5	29	12		8	1	40	
	定点あたり	2.64	3.36	2.60	0.83	7.25	4.00	0.00	2.00	1.00	10.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	51	72	19	19	12	15		3		4	
	定点あたり	1.42	2.00	1.90	3.17	3.00	5.00	0.00	0.75	0.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	36	24	3	2	13	3		2		1	
	定点あたり	1.00	0.67	0.30	0.33	3.25	1.00	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	270	308	68	46	49	30	38	19	6	44	8
	定点あたり	7.50	8.56	6.80	7.67	12.25	10.00	12.67	4.75	6.00	11.00	8.00
水痘	報告数	40	29	11	1	2		2	4		8	1
	定点あたり	1.11	0.81	1.10	0.17	0.50	0.00	0.67	1.00	0.00	2.00	1.00
手足口病	報告数	84	101	9	17	9	29		7		28	2
	定点あたり	2.33	2.81	0.90	2.83	2.25	9.67	0.00	1.75	0.00	7.00	2.00
伝染性紅斑	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	34	53	16	13	10		2	8		2	2
	定点あたり	0.94	1.47	1.60	2.17	2.50	0.00	0.67	2.00	0.00	0.50	2.00
百日咳	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	20	16	5	1	2	3				5	
	定点あたり	0.56	0.44	0.50	0.17	0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	1.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	6	4		2						1	1
	定点あたり	0.17	0.11	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	29	16	15	1							
	定点あたり	4.83	2.67	5.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2013年第1週～41週)

2類感染症	急性灰白髄炎	1例	結核	211例(11)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	88例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	4例
	つつが虫病	4例	デング熱	3例	日本紅斑熱	9例
	レジオネラ症	8例	レプトスピラ症	1例		
5類感染症	アメーバ赤痢	10例	ウイルス性肝炎	3例	急性脳炎	6例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	7例
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	7例	破傷風	4例
	風しん	23例				

()内は今週届出分、再掲